

コロナに負けず活動を続ける区民との3事業

区民委員と職員が協働で進めてきた「男女平等推進フォーラム」「情報誌」「コミュニティ・カフェ」の3つの事業も、コロナ下での様々な制限を受けていますが、それぞれアイデアを出し合い、活動を続けています。

●コミュニティ・カフェ●

昨年11月にカフェを再開。休止中は、掲示板「コミュニティ・カフェ広場」で、男女平等推進に関する話題等を発信し、参加して下さる方たちとのつながりが途切れてしまわないようにしました。

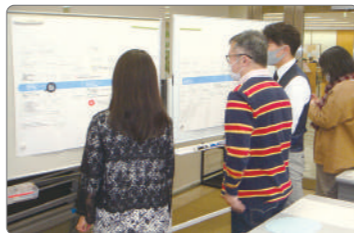
※感染予防の観点から、現在コーヒーの提供はしていません。



感染予防対策を徹底して開催

●男女平等推進フォーラム●

残念ながら来場者を迎えての開催はかありませんでしたが、フォーラムの企画運営の一環として、「はばたき21」のあゆみに男女平等に関するトピックスを加えた年表「プラザ20年、あの時、この時」作りにも取り組みました。



▲ 年表には各委員のコメントも

●情報誌●

対面での打ち合わせが難しいときも、オンライン会議やメールでのやりとりによってテーマなどを出し合い、今号の原稿をまとめていきました。



▶ 入稿前の最終確認をする委員会の様子

男女平等推進団体との協働による講座の開催

例年「はばたき21」との共催で実施している「区民学習活動支援事業」による4講座と、初の試みである、講座講師を団体へお願いした2講座を開催しました。

●「区民学習活動支援事業」は、男女平等参画をテーマにした区民向け講座やワークショップの企画を男女平等推進団体に応募していただき、選考会での審査を経て、共催で実施する事業です。今年度は、3団体による4講座が開催され、いずれも盛況のうちに終了しました。

- ☆ 主催団体 ☆
- ① ② ワーキングマザーサロンたいとう
 - ③ NPO法人台東区の子育てを支え合うネットワーク
 - ④ はばたき21ドリームプロジェクト

① 『感情的にならない子育てを学ぼう』

② 『親から子どもに伝える性はなし』

③ 『つくろう！自分のトリセツ(取扱説明書)』

④ 『誰もがあんしんして暮らせる地域とは』

●「はばたき21」主催の『パパと絵本であそぼう！』と『初心者のためのやさしい「Zoom」の使い方講座』では、男女平等推進団体の「たいとう絵本の泉」と「ITボランティア虹の会」の方たちに、講座の講師をお願いしました。日頃の活動の成果を十分に発揮していただき、参加者にも大変好評でした。



▲ 『パパと絵本であそぼう！』



▼ 『初心者のためのやさしい「Zoom」の使い方講座』

男女平等推進プラザ「はばたき21」男女平等推進団体(34団体)

- *ITボランティア虹の会
- *サークルやまとことば
- *NPO法人 台東区の子育てを支え合うネットワーク
- *フランス語勉強会
- *アトリエ よこた
- *NPO法人 Healthy Aging Projects for Women
- *浅草日本語道場
- *マジック同好会カッター
- *NPO法人 APL・パラカウンセリング研究所
- *新日本婦人の会台東支部
- *台東区女性史あゆみの会
- *モーニングクラス
- *おはなしはらっぱ
- *NPO法人 GEWEL
- *新保育学会 親子の会
- *翠の会
- *水曜会
- *おはなしはらっぱ
- *NPO法人 GEWEL
- *台東区男女平等条例をまなぶ会
- *台東女性プラザを考える会
- *韓国文化研究会
- *アンサンブル・マーキュリー
- *パンの会
- *はばたきねっと
- *はばたき21ドリームプロジェクト
- *勘亭流 書道の会
- *ささはやか
- *TEKONOWA

区民と共にあゆむ「はばたき21」



2021(令和3)年9月に開設20周年を迎えた台東区立男女平等推進プラザ「はばたき21」。これまで区民・男女平等推進団体と実施してきた様々な協働事業にも、新型コロナウイルス感染症の影響は及んでいます。そうした中、新しい形を模索しながら、今できる最善のことをめざして区民の皆様と事業に取り組む「はばたき21」の今を紹介します。

「みんなのはばたき21フォーラム」講演動画配信とパネル展示

「男女平等推進フォーラム」は、講演会や男女平等推進団体の活動発表の場として、毎年多くの区民に参加していただいていたイベントです。今年度は、「みんなのはばたき21フォーラム」と名称を変更して開催する予定でしたが、再び中止に…。そこで、講演の動画配信と団体によるパネル展示を行いました。

講演レポート

プラザ開設20周年記念講演

「これがこみちの生きる道 柳亭こみちの落語&講演」

【講師】柳亭こみち師匠



2021年9月25日(土)・26日(日)に予定されていた「みんなのはばたき21フォーラム」は中止になりましたが、当講演の動画配信のための撮影が、9月26日(日)、生涯学習センター2階のミレニアムホールで行われました。

フォーラム企画委員長・佐藤陽子さんのごあいさつに続いて登場した柳亭こみち師匠。客席に観客がいないのが残念でならないほど、その講演と落語は聴きごたえのある熱の入ったものでした。

講演のメインテーマは、圧倒的な男性優位の落語界(以前より増えたとはいえ女性落語家は1割にも満たない)で女性がいかに気働きをし、修業を重ねてきたか、です。

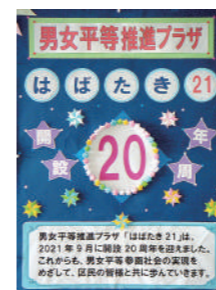
演劇好きな会社員だった頃、たまたま行った寄席で落語に魅了され、落語家になることを決意。そうして進んだ落語の道ですが、4年ほどに及ぶ見習い・前座の期間、ほぼ休みなしで、基礎化粧品も買えず(使えず)手にあかぎれをつくりながらも、師匠の世

話や寄席での仕事をしたそうです。前座の次の段階「二つ目」時代の約10年間は、男性の目線で磨き上げられてきた落語に女性(自分)ならではの演出を加える「戦い」の時期でした。今は、落語史上初の「二児の母で真打ちに昇進した落語家」としてさらに奮闘中。性を越えた「こみち落語」づくりをめざしています。

講演を受けての落語は「まんじゅうこわい」と「そば清」の2席。ご本人いわく、「まんじゅうこわい」は登場人物が男性だけのスタンダードなもの、「そば清」は主人公を女性にすえた工夫。通常は大食いそば男の造形が見ものですが、「こみちのそば清」では子たくさん落語家の夫をもつ清子(せいこ)さんが活躍します。

落語好きな身としては、新鮮な「こみち落語」を堪能しました。

※現在、講演のみ YouTube でご視聴いただけます。
https://youtu.be/sffdf_ewNtA



男女平等推進団体によるパネル展示を実施

通常フォーラム時に行っているパネル展示を、2022年2月9日(水)～14日(月)に、生涯学習センター1階アトリウムにて開催。13団体に参加していただき、各団体の活動内容や成果物を紹介しました。